

# 池中だより

- 【教育目標】
- すすんで学び実践する人
  - 感謝する心を持ち責任を果たす人
  - 心身ともに健康な人

11月号

平成24年11月1日

豊島区立池袋中学校

## 実りの秋

校長 堀 利光

勉強の秋、スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋……。秋はいろいろな呼ばれ方をします。それだけ物事を行うにはちょうど良い季節ということなのでしょう。

先日行われた学習発表会（舞台の部）は、去年より発表が三つ減りましたが、どの発表も充実したものばかりでした。

最初の生徒会の発表では、詳しいデータをもとに節約の大切さを学ぶことが出来ました。文芸部の発表は、朗読と画面と音楽をシンクロさせて物語の世界に引き込みました。マイクの調子が悪かったにも関わらず落ち着いて発表していました。続く各学年の総合的な時間の発表では、学年ごとに特色を発揮して、今までに取り組んできた活動が手に取るようにわかりました。また、学年全体合唱はひと言でくくるとしたら、一年生は「一生懸命さ」、二年生は「真面目さ」、三年生は「最上級生としてのプライドと底力」を見せてくれました。見ている人を感動させるすばらしい合唱でした。午後の部の吹奏楽部の演奏は、日ごろの不断の努力があるからこそ本番ですばらしい発表ができるのだと再認識させる期待通りの素晴らしい演奏でした。

まさに、四月からそれぞれの学年で生徒が成長し続けている姿を確認することができた「実りの秋」を実感させる学習発表会でした。舞台の上で堂々と発表できたという体験を糧に自信をもってこれからも学校生活を送ってほしいと思います。



### 『ホントノキズナ』

これは10月27日～11月9日までの第66回読書週間の標語です。巡り合った本との絆を大切に、また読書への関心と読書習慣の確立のきっかけとなることを願って文化の日をはさんで読書週間は設定されています。

毎日新聞社が行っている学校読書調査では、小学生の好きな本は「かいけつゾロリ」「妖怪レストラン」「魔女の宅急便」などでした。また、中学生と高校生に一番好きな作家を聞いたところ、1位はともにホラー作家の山田悠介さんでした。さらに、今年5月に1カ月に読んだ本（教科書、参考書、マンガ、雑誌を除く）の冊数を尋ねたところ、小学生の平均は昨年比0.6冊増の10.5冊、中学生は0.5冊増の4.2冊でした。また、1ヶ月間に一冊も本を読まない「不読率」は小学生で5%、中学生で16%という結果が出ています。自分はどれにあたりますか。

物質的な豊かさに比べ心の豊かさの低迷が問題視されている昨今、論理的な思考の基礎となる読書の重要性はますます高まっています。読書の秋真っ盛り。本との出会いを大切に、読書を通して自分を成長させることも考えてください。

